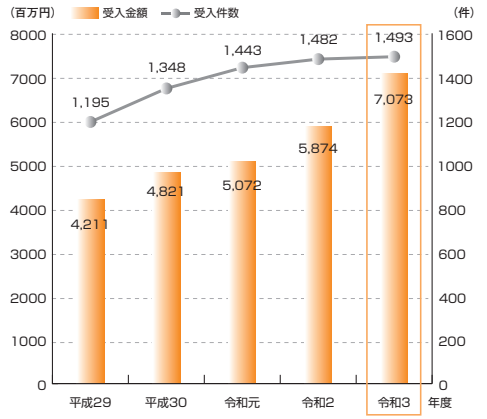
産学連携

共同研究

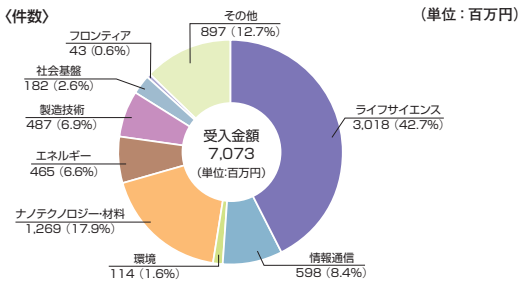
実施状況の経年推移



(単位：件・百万円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受入件数	1,195	1,348	1,443	1,482	1,493
受入金額	4,211	4,821	5,072	5,874	7,073

令和３年度の実施状況（分野別受入金額内訳）



(単位：件・百万円)

共同研究	受入件数		受入金額	
ライフサイエンス	487	32.6%	3,018	42.7%
情報通信	140	9.4%	598	8.4%
環境	54	3.6%	114	1.6%
ナノテクノロジー・材料	386	25.9%	1,269	17.9%
エネルギー	96	6.4%	465	6.6%
製造技術	117	7.8%	487	6.9%
社会基盤	57	3.8%	182	2.6%
フロンティア	23	1.5%	43	0.6%
その他	133	9.0%	897	12.7%
合計	1,493	100.0%	7,073	100.0%

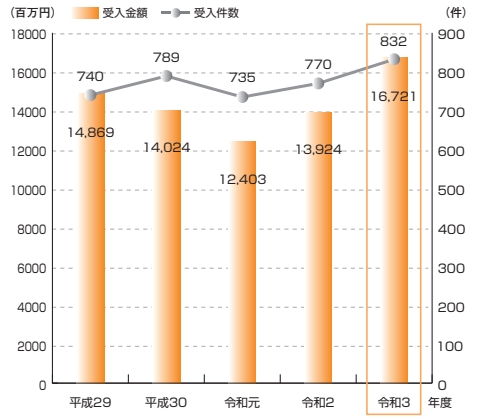
・共創研究所の設置状況

「共創研究所」は、共同研究や人材育成などの共創活動を企画・実施するための連携拠点を構築する制度です。　(2022年５月１日現在)

設置年度	共創研究所名称	設置期間
2021年	愛知製鋼×東北大学　次世代電動アクスル用素材・プロセス共創研究所	2021年10月 ～ 2024年 9月
	ブリヂストン×東北大学共創ラボ	2021年10月 ～ 2024年 9月
	東北電力×東北大学共創研究所	2021年11月 ～ 2025年 3月
	JFE スチール×東北大学グリーンスチール共創研究所	2022年 2月 ～ 2025年 3月
	東北発電工業×東北大学共創研究所	2022年 3月 ～ 2025年 2月
2022年	トヨタ自動車東日本×東北大学環境融和ものづくり共創研究所	2022年 4月 ～ 2025年 3月
	DOWA ×東北大学 共創研究所	2022年 4月 ～ 2025年 3月
	ピクシーダストテクノロジーズ×東北大学ホログラフィックウェルビーイング共創研究所	2022年 4月 ～ 2025年 3月

受託研究

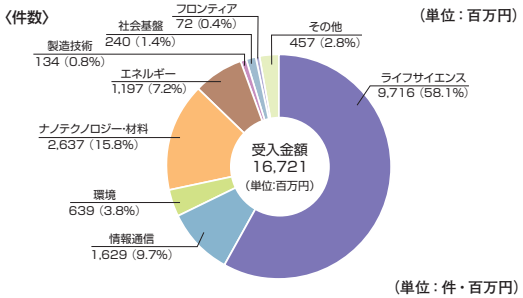
実施状況の経年推移



(単位：件・百万円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受入件数	740	789	735	770	832
受入金額	14,869	14,024	12,403	13,924	16,721

令和３年度の実施状況（分野別受入金額内訳）



(単位：件・百万円)

受託研究	受入件数		受入金額	
ライフサイエンス	407	27.3%	9,716	58.1%
情報通信	60	4.0%	1,629	9.7%
環境	51	3.4%	639	3.8%
ナノテクノロジー・材料	126	8.4%	2,637	15.8%
エネルギー	85	5.7%	1,197	7.2%
製造技術	10	0.7%	134	0.8%
社会基盤	33	2.2%	240	1.4%
フロンティア	11	0.7%	72	0.4%
その他	49	47.6%	457	2.8%
合計	832	100.0%	16,721	100.0%

官民イノベーションプログラム（国立大学に対する出資事業）

平成24年度補正予算により、大学の研究開発成果の事業化を推進するために、政府出資金125億円、特別運営費交付金25億円が措置されました。

政府出資金では、平成27年２月に、本学100%出資によるベンチャーキャピタルである東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社（THVP）を設立、同年８月には、同社を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合（ファンド）が組成され、本学発研究成果の事業化を目指すベンチャー企業への投資活動が開始されました。令和２年10月には、THVP-2号投資事業有限責任組合（2号ファンド）を組成し、東北大学及び東北圏域（東北６県及び新潟県）並びに東北周辺地域に所在する国立大学等発ベンチャー企業へ投資する環境が整いました。

特別運営費交付金では、平成25年度から、社会的インパクトのある研究成果の事業化・実用化を支援する東北大学ビジネス・インキュベーション・プログラム（BIP）を継続的に実施し、これまでに79件の支援を行い、そのうち25件が起業するという成果を出してきました。

令和４年度には、担当部署を「スタートアップ事業化センター」に改組し、本学がスタートアップ創出支援に注力していくことをより明確にしました。

これからも社会変革の原動力となるスタートアップの創出・育成を通して、新産業の創出と地域経済の活性化に貢献することを目指していきます。